

がん教育

—今年度で5年目—

「中学生に実施する意味って？」
根気強い活動で、
未来の「わたし」と家族を守る

令和5年度がん教育を実施した中学校での、講演前後3回にわたり経過調査した生徒へのアンケート結果についてご紹介。

あなたは子どものころ
がんについて学んだ記憶はありますか？

がんは日本人の2人に1人がかかる身近なものです。正しい知識を得る機会はまだまだ少ないのが現状です。そんな時代だからこそ、がん教育の果たす役割は年々大きくなっており、ただ実施するのでは意味がない。記憶に残りその後の生活に好影響を与えるような「質」が求められているのです。

がん教育実施後、いかに
アクションを起こさせるかが重要！

アンケート対象 松前町立岡田中学校

2年生:89名(回答)

- ①講演1ヶ月前
- ②講演時
- ③講演1ヶ月後

がんに関するアンケートを実施し、意識調査を行いました。

R6年度 がん教育開催学校

- 愛媛大学教育学部附属中学校
11月25日(保護者)
- 伊予市立伊予中学校
12月5日(2・3年生)
- 宇和島市立城北中学校
12月10日(2年生)
- 松野町立松野中学校
12月23日(全学年)
- 砥部町立砥部中学校
1月27日(2年生)
- 松山市立久谷中学校
2月10日(2年生)
- 鬼北町立広見中学校
2月12日(2年生)

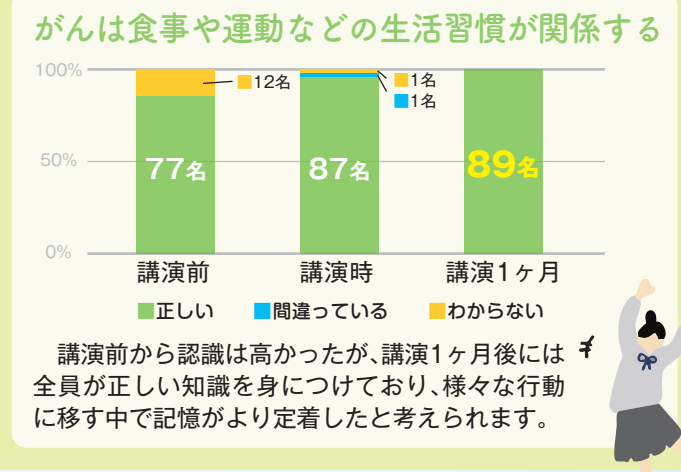
当協会のがん教育は講演1ヶ月後 実際
に、がん検診の受診を勧めたり、生活習慣を見直してくれたのがなんと

40%超え!

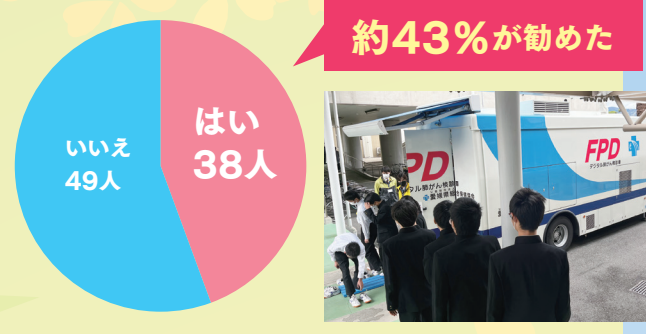
1 家族に講演内容を話した
約65%が話した

がん教育実施後の行動の第一歩♪

はい 58人
いいえ 29人

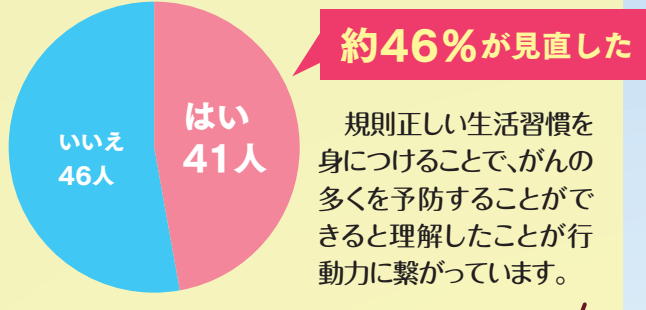


2 まわりのがん検診の受診を勧めた



肺がん検診車の見学によって、検診のイメージが湧き、よりまわりへ勧めやすくなっています。

3 自分や家族の生活習慣を見直した



規則正しい生活習慣を身につけることで、がんの多くを予防することができると理解したことが行動力に繋がっています。

その他、がんや検診についてさらに調べた・医療関係の仕事について調べた生徒が約32%いた!

講演後、多くの生徒が何らかの行動に移しており、自分自身だけではなくまわりの大人へも良い影響を与えていることが窺えます。がん教育で得られた正しい認識を高校、大学、社会人と成長する中で継続することができれば、規則正しい生活習慣の習得やがん検診受診へと繋がっていくと期待しています。

講演1ヶ月前アンケートでは、「当協会」と「CM認知度」を調査

将来の検診への意識向上に期待!
当協会を知っていますか?



当協会の「行ってこーわい!愛媛の健診」CMを見たことはありますか?



講演前は当協会のことを知らない生徒がほとんど。しかしメディアプロモーションでのCMについては認知がとても高い!メディアの発信力は強く、老若男女問わずCMが認知されることは、がん検診受診促進にも非常に意義があると感じられました。

参加学生の感想

がんの定期検診に行っている割合が全国で最も約70%しかなく、愛媛県は全国平均の約50%を下回る48%だということを知っておどろきました。しかも100%に近づくにはいいかなと思いました。宇和島市はがん検診の値段が無料だということも聞いて、お母さんやおじいちゃん、おばあちゃんにも行ってみたい?と提案してみたいと思いました。たくさん学んだ講演会に参加しました。

検診車見学をしてX線がどのようにくふうしたりして、私は、せまいじゃないかな?かなと思っていたけど、検診を受けるために着がえして、検診車の中に入ると、3つに3つに分かれて、がん検診の仕組みを知ることができて、とても楽しかったです。がん検診を受けることの将来に役に立っていると、思っています。がん検診を受けることの将来に役に立っていると、思っています。



伊予市立伊予中学校肺がん検診車見学



宇和島市立城北中学校

レントゲンって、こうやって撮るんだ!

R7年度がん教育講演についてのお問合せはこちら
☎089-987-8203 企画広報係まで